

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 本市のシティプロモーション戦略を考える。</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>「地方創生2.0」の実現に向けた取り組みとして、住所地以外の地域に継続的に関わる方々を登録できる「ふるさと住民登録制度」の創設が検討されている。</p> <p>これは、「関係人口」の増加策として、行政が自らの魅力や価値を発信し、市民・企業・観光客などさまざまな人々に対して本市のファンになってもらう為の、シティプロモーション戦略が必要となる。</p> <p>行政が行うシティプロモーション戦略は、単なる宣伝ではなく、地域ブランド力を高め、人口減少や地域経済の停滞といった課題を乗り越えるための重要な施策である。</p>	<p>(1) 本市のシティプロモーション戦略の目的とKPIについて伺う。</p>	<p>① 本市は、平成29年3月に「せとまちブランディング戦略」を策定し、新たな魅力をつくるだけでなく、既存の魅力を再発見、再構築することで、瀬戸の魅力を磨き上げ、広く発信することに力を入れてきた。</p> <p>そして令和4年3月に瀬戸市シティプロモーション推進アクションプラン(以下、「アクションプラン」という)を策定し、「せとファンを増やす」と、「せとで暮らす魅力を伝える」ことを基本目標に掲げています。</p> <p>計画期間が令和4年度から令和8年度までの5年間とされているが、その目的と成果、進捗管理の方法について伺う。</p> <p>② アクションプランの位置づけとしては、「第2期瀬戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「せと・まるっとミュージアム観光推進プラン2021-2025」、「瀬戸市ICT戦略推進プラン・官民データ活用推進計画2021-2025」と連動し、官民が協議して取り組んでいるプランであると認識しているが、取り組みの内容と見解を伺う。</p> <p>③ アクションプランの進捗管理に基づく取り組みの効果を測定するために、4つの目標指数と2つのサブ指標が定められているが、中間目標値である令和6年度の実績と最終目標値である令和8年度の予想される実績見込みについて伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>「ヒト」が来れば、「モノ」が活かされ、「カネ」が回る。「モノ」に価値があれば、「ヒト」が集まり、「カネ」が落ちる。「カネ」が投資されれば、「モノ」が整い、「ヒト」が定着する。今回は、「ヒト・モノ・カネ」からの分析により、本市のシティプロモーション戦略について伺う。</p>	<p>(2)「シティプロモーション戦略」の方策について、1つ目の視点は、「ヒト」。瀬戸市内外含めて人の繋がりからの視点から伺う。</p>	<p>① アクションプランにある課題と今後の方向性：4－1活動目的の明確化とフォローの充実において、せとまちサポーターや企業アンバサダーなどの各活動に対するフォローが十分でないため、目指す方向を共有し、一体感をもった取り組みを検討する必要があると課題を挙げている。改めて、シティプロモーションに携わる人々の活動意欲を高め、活発化させる方策と期待する効果を伺う。</p> <p>② せとファンを増やすという基本目標の達成は、本市の「関係人口」を増やすこととなり、未来の定住人口を増やすことに繋がる。「関係人口」増加には行政と地域内人材の連携が必要と考えるが、その具体的なシティプロモーション戦略について伺う。</p> <p>③ アクションプランの中で、せとファンを増やすためのアクション10：市公式インスタグラムの充実及び活動強化とあるが、せともの祭や招き猫まつり、国際芸術祭「あいち2025」等、今後せとファンを増やすには絶好の機会と思われるイベントが本市内において数多く開催されるが、「関係人口」増加の視点から、シティプロモーションの可能性と実際の活動について伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(3)「シティプロモーション戦略」の方策について、2つ目の視点は、「モノ」。地域資源の魅力の視点から伺う。</p>	<p>① アクションプランの中に課題と今後の方向性：4-2「ものづくり文化」や「里山」といった本市の魅力に絞り込みプロモーションを行ってきたが、目的とターゲットに合わせた情報発信が必要であると課題を挙げている。改めて「ものづくり文化」や「里山」をどのようにシティプロモーション戦略に活かしていくのか伺う。</p> <p>② 本市の地域資源の一つにやきものの歴史がある。せとファンを増やすためのアクション1：加藤民吉記念事業のプロモーションとあるが、やきものの更なる知名度の向上、商品として地域ブランド確立のためのシティプロモーション戦略にどのように活かされたのか伺う。</p> <p>③ アクションプランの中で、せとファンを増やすためのアクション5：自然体験情報の集約と体系化とあり、所管が多岐にわたる「自然を満喫できる催し・スポット」を体系化し、魅力を紹介するとあるが、インスタ映えする観光資源などを観光施策と連携して、どのようにシティプロモーション戦略に活かしていくのか伺う。</p> <p>④ アクションプランの中で、せとファンを増やすためのアクション7：地元棋士の応援とマスメディアとの連携強化とある、将棋というコンテンツをどのようにシティプロモーション戦略に活かしていくのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(4) 「シティプロモーション戦略」の方策について、3つ目の視点は、「カネ」。財政・経済基盤の視点から伺う。</p>	<p>① 「関係人口」を増加させるシティプロモーション戦略を行うことを、単なる支出と考えるのではなく、将来の税収・地域経済の活性化への投資として捉えることが重要と考えるが、本市の見解を伺う。</p> <p>② アクションプランの中で、せとファンを増やすためのアクション18：ふるさと納税返礼品の充実に伴うプロモーション強化とあるが、財政・経済基盤の強化はもとより、本市の魅力をより深く体験してもらうために滞在型体験プランの返礼品の検討とあるが、進捗と期待する効果について伺う。</p> <p>③ 瀬戸に住みたい、住み続けたい人を増やすことは将来的な税収確保の基盤づくりとなる。アクションプランの中で、瀬戸で暮らす魅力を伝える取り組みの検討はアクション19からアクション25までの7プランある。 「関係人口」の創出は、定住人口を増加させることに繋がり、本市のプロモーション戦略の「最大のインフラ投資」とも捉えるが、アクション7プランの意義と進捗について伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 本市が進むべきシティプロモーションのKGIとその後について。	<p>① 本市が行っているシティプロモーション戦略の方策のKGIは、「定住促進」と理解しているが、アクションプランが施行された令和4年4月の人口128,470人に対し、令和7年4月の人口は125,786人である。アクションプランの推進をしているにも関わらず、2,684人減少の現状をどのように認識しているのか伺う。 併せて、本プランのKGIが定住促進で良いのか伺う。</p> <p>② アクションプランの中で、せとで暮らす魅力を伝えるためのアクション23：転入に関わる様々な相談を受け付ける総合窓口及びコーディネーターである、定住促進総合窓口の設置の現状を伺う。</p> <p>③ シティプロモーション戦略の推進にあたっては、行政が取り組むだけでは一定の効果しか得られないため、市内外を問わず、市民、団体、事業者と行政がそれぞれに主体的にシティプロモーションに取り組み、連携しながら展開することで相乗効果が生まれると感じる。 特に、「オールせと」の全市的なシティプロモーション戦略に関しては、担当課である政策推進課が全庁的な連携体制を構築し、俯瞰的な把握の上の事業推進の必要性を感じるが、見解を伺う。</p> <p>④ 最後に、全市的なプロモーション戦略の一つと考えられる、瀬戸市制施行100周年記念事業の構想及び期待する効果について、市長に伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。